

ご注意とお願い

つづき

- ご使用中にコップの裏面や中せん、口金(肩口)にぬれたような水滴が付く場合があります。この症状は水漏れではありません。(水蒸気が凝結して水滴となる、結露現象です)
- 自動食器洗浄機または食器乾燥器は絶対に使用しないで下さい。
- かばんなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を立てた状態で入れてください。

お手入れの方法

本体

- ①汚れがひどい場合は、湯で薄めた台所用洗剤を柔らかい布に含ませ固く絞り、汚れをふきとってください。
- ②乾いた布で充分にふいてください。

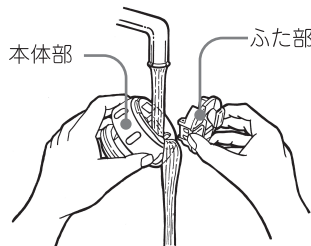
内びん

- ①ご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗い、充分乾燥させてください。
- ②内びんには18-8ステンレスを使用していますが、水質や不純物などにより、サビのような赤い斑点ができることがあります。このような場合は、10%ほどのお酢を加えたお湯を入れ約30分後、柔らかいブラシで内面をきれいに洗った後、充分にゆすいでください。

※保存するときは、汚れを落として充分乾燥させてください。

中せん

- ①中せんは、ふた部と本体部に分解できます。
- ②本体部からふた部をはずして、汚れたところを流水でよく洗ってください。(はずし方→表紙をごらんください)
- ③乾いた布でふいてください。



修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合にもあてはまらない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■お湯が さめやすい	中せんがきっちりとしまっていますか？ びんが損傷していませんか？ 熱湯をほぼ満量入れ、20～30分後胴部を手でさわってみてください。	きっちりしめなおしてください。 もし胴部が温かいようであれば、お買い上げの販売店にご相談ください。

※中せんは消耗品です、使用後半年から1年をめやすにご確認ください。消耗のある場合は、お買い上げの販売店で品名・品番をお確かめのうえ、お買い求めください。

アフターサービスについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、ご使用にならずにお買い上げの販売店又は、ピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談課または最寄りの営業所にご相談ください。

●お客様相談課

0570-094891
市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間 9:00～17:00
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
携帯電話・PHSの方はこちらへ 06-6453-9489



ピーコック魔法瓶工業株式会社

お客様相談課	〒553-0002	大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号	TEL(06)6453-9489
本社・工場	〒553-0002	大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号	TEL(06)6458-0541
住之江工場	〒559-0024	大阪市住之江区新北島7丁目1番27号	TEL(06)6681-1861
営業本部	〒553-0002	大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号	TEL(06)6453-4886
大阪営業所	〒553-0002	大阪市福島区鶯洲5丁目12番20号	TEL(06)6458-4841
東京営業所	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里2丁目10番5号(泉ビル)	TEL(03)3803-6501
名古屋営業所	〒453-0035	名古屋市中村区十王町6番17号(三鈴ビル)	TEL(052)482-2361
福岡営業所	〒815-0031	福岡市南区清水1丁目16-11(第1明永ビル)	TEL(092)512-7721

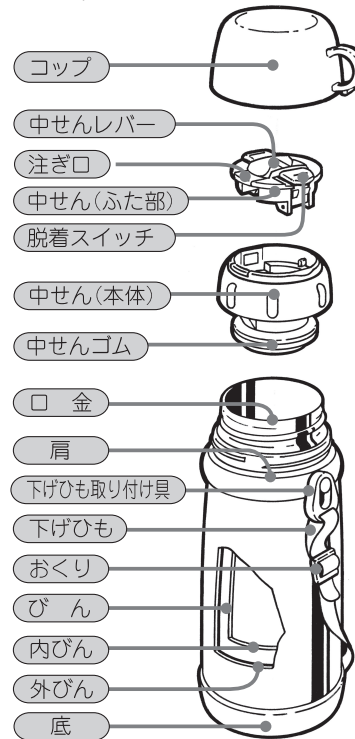
Peacock

ステンレスボトル ASD・ASE・ASF

取扱説明書

このたびは、孔雀印ステンレスボトルをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

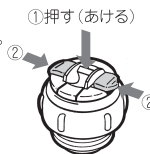
各部のなまえとはたらき



中せんの分解及びセット

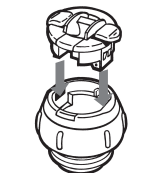
分解

- ①中せんレバーをあげる。
- ②脱着スイッチを矢印の方向に動かし、ひき上げて中せん(ふた部)をはずします。



セット

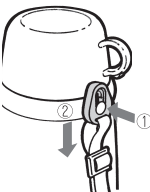
- ①中せん(ふた部)を中せん(本体)にぞぞぎ口の方向を合わせてカチッと音がするまで押し込みます。



下げひもの着脱方法

(図はASE型です。他型も同じです。)

- ①下げひも取り付け具の穴を本体の突起部にはめこみます。
 - ②「カチッ」と音がするまで下方向に引っばってください。
- ※取りはずしは、つけるときの逆手順で行ってください。



説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保存してください。

05023C

ご使用方法

ご使用前にコップ、内びん、中せんを洗ってからご使用ください。

1 コップ、中せんをはずす

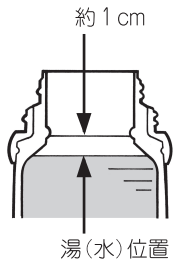
2 お湯(冷水)を入れる

①直接、内びん内にお湯(冷水)が落ちるように入れてください。

②熱いやかんを肩に触れさせないでください。

※お湯(冷水)の量は図の位置までにしてください。入れすぎると、レバー操作が堅くなったり、中せんをしめる時お湯(冷水)があふれることがあり危険です。

※あらかじめ少量の熱湯(冷水)を入れて、3分程度予熱(予冷)した後、お湯(冷水)を入れ換えると、保温(保冷)効果が上がります。



3 中せんをしめる

①中せんは最後までゆっくり確実にしめてください。

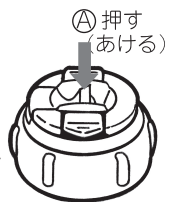
※中せんをしめた後は、必ず中せんレバーが下がっているかを確認してください。

4 お湯(冷水)を注ぐ

①中せんレバーA部を指で押し下げ、製品本体を持って注ぎ口方向へ傾けますと注げます。

※傾けたまま、中せんレバーを絶対に指で押し下げないでください。お湯があふれ出ることがあります。

※中せんレバーの操作が堅くて押せない時は、無理やり下げないで一度中せんをゆるめて、レバーを指で押し下げ、そのまましめなおしてください。



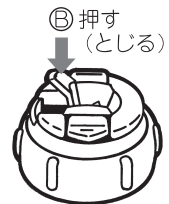
5 注ぎ終わったら

①必ず、製品を立てた状態で2~3秒してから中せんレバーB部を指で押し下げてください。

※注ぎ口周辺や中せん内部に内容水(残留水滴)が、わずかに残留する場合があります。特に製品を横置きにした場合にこぼれることがあります。

※注ぎ終わったら必ず、中せんレバーB部を指で押し下げてください。中せんレバーがそのままだと、万一製品が倒れた場合にお湯(冷水)が出たり、保温(保冷)効果が悪くなります。

②コップは最後までゆっくり確実にしめてください。



必ずお守りください

●飲料物の保温・保冷以外にご使用しないでください。

●乳幼児のいたずらには十分注意するようにしてください。(やけど等、危険です)



●ストーブやコンロなど火のそばに近づけないでください。(変形や変色の原因となります)

●本体のまる洗いはしないでください。(水が侵入しサビが発生したり他の物を汚したりします)

●次の物は絶対に入れてください。

- ドライアイス、炭酸飲料等(内圧が上がり中せんが開かなかったり、内容物が吹き出る等危険です)
- 牛乳、乳飲料、果汁等(成分が腐敗することがあります)
- みそ汁やスープ等、塩分を含んだもの(内びんは18-8ステンレスを使用していますが錆びる恐れがあります)
- 果肉、お茶の葉等(つまる、漏れる等故障の原因となります)

●熱い物を入れた場合は直接飲まないで、必ずコップをご使用ください。



●製品を傾けた状態、又は顔などを近づけた状態で中せんレバーを絶対に押さないでください。(熱湯が勢いよく出てやけどをするおそれがあります)

●下げひもを持って振りまわさないでください。(人や物に当たると危険です)



●中せんは確実にしめてご使用ください。(内容物が漏れることがあります)

●中せんは煮沸しないでください。(変形し、漏れるなど故障の原因となります)

ご注意とお願い

●落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えないでください。(表面がへこみ、保温性能が低下することがあります)



●シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザー等は使わないでください。(キズがついたり、サビや故障の原因となります)



●注湯(注水)操作後、製品を横置きにした場合、中せんの注ぎ口から残留水滴(中せん内部に残っている水滴)が漏れることがあります。この場合は中せんふた部をはずしたのち、注ぎ口を下にして本体を軽く上下に振って残留水滴をだしてください。(他の物を汚す原因となります)

- 熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。お出かけの時には、ティーバッグ等のご使用をおすすめします。
- さらし粉等塩素漂白剤を使用しないでください。(サビや穴あき等故障の原因となります)
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さくしてお入れください。(キズや漏れの原因となります)
- 内容物を長時間保存しないでください。(変質や腐敗のおそれがあります)